

事業評価個票（事業実施：令和6年度）

（様式1）

事業名	デジタル活用観光誘客事業費		開始/終了(予定)年度	令和6 / 令和8			
部局・担当課名	観光文化スポーツ部 観光交流拡大課						
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	[政策の柱3] 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化 [政策3] 国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化					
	施策	[施策2] 戦略的な誘客促進					
目標指標	観光消費額	2,600億円（令和6年度）					
事業の目的	個人旅行化が進み、観光の目的も多様化する中、観光客の属性（性別・年代・居住地）や行動データを収集・分析し、消費者の観光ニーズを把握するためのマーケティング事業を実施することにより、個人々の嗜好に沿った観光情報の発信を行い、本県への更なる観光誘客、観光消費額の増加を図る。						
事業概要 (令和6年度の実施内容)	本県の大きな強みである「ラーメン・そば」を核として、デジタルツール（SNS）を活用した誘客イベントを実施し、求県した観光客の属性や行動データを収集・分析したうえで、新たな旅の提案（観光客の嗜好に沿った情報発信）を行う。 ①ファンクラブによる魅力発信・誘客促進事業 ・ラーメン県そば王国やまがたフェスタの開催 ・ラーメン県そば王国やまがたファンミーティングの開催 ・電子スタンプラリーの実施 ・デジタル技術を活用した観光客のデータの収集・分析と情報発信 ②YouTube等を活用した情報発信事業 ・各地域の麺文化と観光を組み合わせた市町村と連携した動画制作と配信等 ③販売促進事業 ・「日本一美酒県 山形」フェアとの連携やアンテナショップにおける「ラーメン県そば王国やまがた」のPR						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他（ ） （委託）民間事業者の専門知識やノウハウを活用するため 上記実施方法とする理由：（負担）「日本一美酒県山形フェア実行委員会」が主体となって実施するため					
当初予算額 (単位:千円)	予算見積書グループ名	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	① ファンクラブによる魅力発信・誘客促進事業	37,832					
	② YouTube等を活用した情報発信事業	5,600					
	③ 販売促進事業	900					
	計	44,332	-	-	-	-	
財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	21,647					
	県債						
	其他特定財源						
	一般財源	22,685					
	計	44,332	-	-	-	-	
活動指標							
①ラーメン県そば王国やまがたフェスタの開催	活動実績	回					
	当初見込み	回	2				
	①ラーメン店・そば店を巡る電子スタンプラリーの実施	活動実績	地域				
		当初見込み	地域	4			
	②市町村と連携した麺文化と観光を組み合わせた動画の制作・配信	活動実績	本				
		当初見込み	本	5			
③「ラーメン県そば王国やまがた」のPRブースの設置	活動実績	箇所					
	当初見込み	箇所	2				
成果指標（所管部局の分析）							
①②③観光消費額（「ラーメン・そば」の取組から収集したデータ分析結果に基づく行動デザインを推進し、周遊を促進することにより観光消費額の増加に寄与する。）	成果実績	億円					
	目標値	億円	1,800	2,072	2,344		
	達成度	%					
成果実績	目標値						
	達成度	%					
	成果実績						
目標値	達成度	%					
	成果実績						
	目標値						
達成度	成果実績						
	目標値						
	達成度	%					
活動指標及び成果指標設定の考え方							
本事業は「ラーメン県そば王国やまがた」の取組を核として、観光客の属性や行動データを収集・分析することにより、個人々の嗜好に沿った観光情報の発信を行い、本県への更なる観光誘客、観光消費額の増加を図ることとしていることから、「ラーメン県そば王国やまがた」の各取組を活動指標として設定した。 また、これらの取組から収集したデータの分析結果に基づき、新たな旅の提案（観光客の嗜好に沿った情報発信）を行うことにより、本県への観光誘客及び県内周遊を促進することから、本県における観光消費額を成果指標として設定した。 なお、成果指標の設定にあたっては、本県の観光消費額の状況と全国の国内旅行消費額の状況を勘案して設定しているが、本県の観光消費額については「第2次おもてなし山形県観光計画(R2~R6)」の目標指標にも設定しており、令和6年度において次期観光計画の策定作業を進める中で、同計画の目標値として設定する「観光消費額」の見直しを検討することとしており、その結果、数値を変更する場合がある。							

現行「第2次おもてなし山形県観光計画」の実施期間が令和6年度までとなっている。令和6年度において次期計画の策定作業を進める中で、同計画の目標値として設定する「観光消費額」の見直しを検討することとしており、その結果、数値を変更する場合がある。

事業所管部局による評価・検証（令和 年 月）

項目	評価 (ABC)	評価に関する説明
事業の必要性		事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。
事業の効率性		支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。
事業の有効性		活動実績は見込みに見合ったものであるか。また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。
事業の有効性		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。

（評価基準）「事業の必要性・事業の効率性 A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い」

「事業の有効性(達成度) A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:おおむね目標どおりの成果、活動見込をおおむね達成(80%以上100%未満)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回って(80%未満)」